

メスキュード医療安全基金様から福祉車両が寄贈されました

5月26日、共英製鋼グループが運営する「メスキュード医療安全基金」より、ダイハツタント(福祉車両)の贈呈を受けました。

当日は、メスキュード医療安全基金理事長の高島浩司様(株式会社共英メソナ社長)、基金の理事である伊達郡桑折町の福興産業株式会社の片平光義社長様が来院されました。



メスキュードとは、電気炉製鋼の溶解技術を、注射針など医療廃棄物の熔融処理・再利用に活用するシステムで、メスキュード医療安全基金は医療現場の安全対策などに活用してもらう目的で、医療廃棄物の処理費用を一部積み立て、毎年複数の医療団体を支援しているそうです。

車イスに乗ったまま乗車することができます

当院では、公益財団法人仁泉会の佐藤喜三郎理事長と木村秀夫院長が出席し、佐藤喜三郎理事長が「有効に使わせていただきます」と感謝の言葉を述べました。



CONTENTS



笑顔を咲かそう！ 看護部新入職員

福祉車両の贈呈式	1
看護の日	2
お知らせ	2
職場体験報告会	3
防災訓練	3
栄養科だより	4

看護の日のイベントを開催しました

5月10日(火)10:00~15:00『看護の日』のイベントをオーチャードホールにおいて開催しました。

看護師による身長・体重測定、血圧・酸素飽和度測定、体脂肪測定、血管年齢測定、握力測定などの健康チェックを受けた後、お薬や療養相談などの相談に薬剤師・医療相談員が対応しました。



手洗いコーナーでは感染管理認定看護師が正しい手洗いと手指の消毒方法を指導しました。健康体操コーナーでは、リハビリテーション科の理学療法士が、来場者の体のタイプに合わせた姿勢改善ストレッチをお教えしました。



また当日は、伊達地方消防組合西分署の6名の隊員の方が、「看護の日」に合わせて応急手当普及啓発活動を実施しました。

オーチャードホール内では、応急手当資料展と応急手当の実技指導を行いました。正面玄関前には、救急車が展示され、内部の見学をすることができました。



ご来場者の皆様にも、救急隊の活動と、私たち医療機関との連携した救命活動についてご理解いただくとともに、応急手当の重要性を再認識していただくことができました。

お知らせ

- 伊達市の胃がん検診(胃カメラ・胃透視)6月13日(月)から12月9日(金)まで、子宮頸がん・乳がん検診8月1日(月)から平成29年2月28日(火)までの予約を受け付けております。北福島医療センター 予防健診センター ☎ 024-551-0109 にお電話でご予約下さい。胃カメラは北福島医療センターのみ実施しております。

〈保原中央クリニックでは〉

- ふれあいの日
6月21日(火) 10:00~11:30
『~ヨーロッパアンモチーフで作る~ちよっぴり華やかフラワーコサージュ』(有料¥550)
- 糖尿病教室
6月17日(金) 10:30~11:30 『口腔ケア ~歯周病予防~』 ~日本糖尿病療養指導士のお話~



職場体験報告会を開催しました



当院では、平成27年度より、職員満足度(ES)と患者様満足度(CS)の両方を向上させる目的で、『ES・CS向上ワーキンググループ』を作り活動しています。

職員満足度向上の観点から、他の職場の仕事ぶり、大変さを体験して、その部署ならではの苦労等に気付いていこうと、平成27年12月から職場体験を実施しました。

これまで実施した4回の職場体験から2部署について『たくさん感じちゃったゾ！報告会』を5月11日に院内で開催しました。

栄養科厨房を体験した言語聴覚士からは、厨房は戦場のようだったとの感想が出され、言語聴覚士・病棟・栄養科が共通認識できる、統一性が必要なのではないかという意見が出されました。また、同じく栄養科厨房を体験した病棟看護師からは、病棟側で出来ることを考える機会になったとの意見が出され、ワーキンググループ担当の志賀副院長からも、他の部署との意見交換にもなるので、今後も続けていきたいと思いますとのお話がありました。



防災訓練を実施しました

5月25日(水)、今年度1回目の防災訓練を実施し、非常時の対応について、職員が再確認をしました。

伊達地方消防組合中央消防署西分署の消防隊員の方が見守る中、3階あすなろ病棟からの出火を想定し、職員約100名が通報、避難誘導、消火活動などを行いました。



患者様の搬送

初期消火に走る



消火器の訓練では、伊達地方消防組合中央消防署西分署の消防隊員の方から、院内の消火器と消火栓の位置は確認しておき、いざという時に使えるようにしておくこととお話がありました。また、佐藤署長からは、いざという時の自分の役割を確認しておくことが必要との講評がありました。

志賀副院長から、チーム医療と同じで、状況を確認し、自分の出来ることを判断し、お互いに助け合うことが大切だと講評がありました。

今後も、防火防災への意識向上に努め、患者様の安全を守るために、緊張感を持って、定期的に防災訓練を行って行きます。

栄養科だより

5月5日 端午の節句

5月5日昼食時、「こどもの日・御祝い膳」をお届けしました。

新緑の季節をイメージしたグリーンピースご飯、花麩の清まし汁、銀鱈にタレを付けて香ばしく焼き上げた照り焼き・蟹豆腐・香の物・大粒のイチゴ・柏餅を組み合わせました。

病院の窮屈な空間から、季節感を味わい少しでもお気持ちが和らぐことができますようにと願いを込めました。



看護の日に栄養相談コーナーを設けました。

テーマ「食物繊維をたっぷり取って・お肌ツルツル美人」

管理栄養士2名が、食事の話や、植物繊維の働きや腸内細菌についてのお話しを中心に、栄養相談に応じました。



1日に手のひらひとつ分の野菜を食べると、腸が超きれいになり、美人になります。

栄養科で手作りの食物繊維たっぷりのスイートポテトを試食していただきました



●経営理念●

笑顔を咲かそう。

豊かな「人間性」と、高い「専門性」で、お客様と職員の「幸せ」という花を咲かそう。

●ブランドメッセージ●

皆様とともに

「仁泉会」は、多様な医療・介護施設を擁し、お客様の誕生から晩年までをサポートしている「公益財団法人」です。医療・介護分野としては、福島県第一号の認定であり、「地域への貢献」が評価され、信頼されている証です。私達は「豊かな人間性」と「高度な専門性」をさらに追求し、すべては、皆様の健康と幸せを創造するために、努力し続けます。

北福島医療センター 理念

私たちは、質の高い医療を提供し、地域に信頼される病院を目指します。

北福島医療センター 「リエゾン」編集係
TEL 551-0551 FAX 551-0808

E-mail jmo@jinsenai.or.jp
URL http://www.jinsenai.or.jp